

京都府立嵯峨野高 2014年

1 【解き方】(1) a. 「じ」は、「～ないようにしよう」という打消しの意志を表す助動詞。行列に参加するために錦、唐綾を着て、装いで他人に劣らないように競い合っているということ。b. 「かねて」は、あらかじめ、前から、という意味。「見えなば」の「ば」は「もし～ならば」という仮定を表す。源行遠は、自分の凝った装いを前もって見られてしまうと、行列の時には目が慣れて珍しさがなくなってしまうということを気にしている。(2) 源行遠が主語のものの中に、行遠が隠れている家の門の方で話をしている人が主語のものがある。(3) 御所の辺りを見に行かせた従者が「無期に見えざりければ」という状況に対して、「いかにかうは遅きにか」と思っている。(4) 「かばかりの見物候はず」と話して、「賀茂祭」を引き合いに出していることに着目する。(5) 行列は「さていかに」と行遠が聞いたことに対する返答である。「果て」は、終わってしまったということ。(6) よく見てきたということである。「～もたたかず」で、まばたきもせず、という意味を表す。(7) 行遠が「進奉不参」になったいきさつを指している。行遠は、従者に行列の進み具合を見て来いと言ったのに、従者は行列が行ってしまうまで見物して帰ってきたので、「進奉不参」になってしまったのである。

【答】(1) a. イ b. エ (2) 4 (3) ア (4) イ (5) ウ (6) エ (7) 源行遠が法皇の行列の到着を知るために派遣した従者が、行遠の指示を勘違いし、ただ行列を見物しただけで帰ってきたため、行遠が行列に参加できなかったこと。(74字) (同意可)

◀口語訳▶ これも今では昔の話だが、白河法皇が鳥羽殿にいらっしゃいました時に、北面の武士たちに受領の国へ下るまねをさせてご覧になろうということで、玄蕃頭久孝という者を国司に仕立てて、衣冠姿で出衣の装束をさせて、その他の第五位にあたる者たちに先払いをさせて、衛府の役人たちに胡籙を背負わせてご覧になるということで、それぞれ錦や唐綾を着て、他の人に見劣りしないようにしようと思っただけで、左衛門尉源行遠は、特に念入りに装いを凝らして、「他の人にも前もって見られてしまったら、見慣れて面白くないだろう」ということで、御所に近い人の家に入っていて、従者を呼んで、「おい、御所の辺りで見て来い」と見に行かせた。

いつまでも帰って来なかったのが、「どうしてこんなに遅いのか」と、「午前八時頃に催しはあるということだが、遅れるとはいっても、正午から午後二時頃には行列がやってくるだろうに」と思っただけで待っていたところ、門の方で声がして、「ああ、すばらしかったなあ、すばらしかったなあ」と言うが、ただ御所に参上する者について言っているのだろうと思っただけで、「玄蕃殿の国司姿は、すばらしかった」と言う。「藤左衛門殿は錦を着ておられた。源兵衛殿は縫い取りをして、金の紋様をつけておられた」などと語る。

不思議に思っただけで、「おい」と呼んだところ、この「見て来い」と言っただけで行かせた男が、笑いながら出てきて、「まづこれほどの見ものはございません。賀茂祭もとりたてて言うほどのものではありません。白河法皇が棧敷席に渡っていかれた様子は、目もくらむほどでした」と言う。「それでどうした」と言うと、従者が「行列がもう行ってしまいました」と言う。「これはどうしたことだ、なぜ知らせに来ないのか」と言うと、「これは何をおっしゃることでしょう。『行って見て来い』とおっしゃられたので、まばたきもせず、よく見ておりましたのです」と言う。まったく何とも言えない話である。

そのうちに、「行遠は法皇がお出かけになる際にお供もせず、まったく不届きである。しっかりと謹慎されよ」と仰せ下されて、二十日余りそうしているうちに、法皇がこの事情をお聞きになられて、お笑いになり、謹慎は許されたということである。

広島国際学院高 2012年

2 【解き方】問一. 前文の「玉不琢、不成器」とは対句になっている。問二. 「ゆゑに」という読み方であることから考える。問三. 「先と為す」は優先すること。問四. 「これ」は漢文中の「其」に当たることをおさえる。問五. 人材発掘の話ではないので、アは不適。王者にどのような人物がつくべきかは論じてはいないので、イは不適。「強制的に収容して」とは述べていないので、ウは不適。

【答】問一. ウ 問二. エ 問三. ア 問四. 念終始 問五. エ